

# なみせいだより

第25号

発行所 近畿税理士会浪速支部青年部  
〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4-9-21 4F  
☎ 06(6631)4570

発行人 猿 木 真紀子  
編集人 金 本 昌 史



祝・入船



|                  |                                 |
|------------------|---------------------------------|
| 浪速支部青年部 ―大河の流れに― | 猿木真紀子 (2)                       |
| ご寄稿「私のWLB」       | 浪速税務署長 村崎尚弘 (3)                 |
| 新役員紹介            | 西川弘晃・金本昌史・伊藤昌紘・西本毅・鈴木義教 (4)～(5) |
| 定期総会             | 宅野善郎 (5)                        |
| 講話を聴講して          | 安井貴生 (6)                        |
| 伝言板              | (6)                             |
| 冬季意見交換会に参加して     | 中谷陽子 (7)                        |
| ご鼎脰に！―私のお勧め―     | 藤本伸太郎 (7)                       |
| ファミリー参加レクリエーション  | 上田玲・金本拓磨・野口明子 (8)～(9)           |
| 入船！ 皆さん、よろしく     | 岡本倫広・砂原健太・野口明子 (10)             |
| 卒船！ お疲れ様でした      | 原仁司 (11)                        |
| 平成28年度青年部活動だより   | (12)                            |
| 編集後記             | (12)                            |

**浪速支部青年部**

—大河の流れに—



青年部部长

**猿 木 真紀子**

9月8日の第22回定期総会におきまして、浪速支部青年部長に就任しました。2年間どうぞよろしくお願い致します。

私が平成14年に青年部入会后、初めて参加させていただいたのは「小ネタ研修会」だったと思います。それは、業務をする中で直面する小さな疑問や困り事をネタにした座談会でした。すぐに実務に役立つ内容で充実した研修会でしたが、驚いたのは、他では聞けないような話が飛び交う開放的なその場の活気でした。

実際、仕事上で、これでいいのだろうか？と誰かに確認したくなったり、対応に困って相談したいと思ったりすることがあります。そして、青年部で集まった時にそんな話を持ち出すと、皆が自分の経験を話し、議論し、言いたいことを言って大笑いします。その積み重ねが互いの絆になり、普段はバラバラに動く自由人ばかりですが、必要な時には一瞬で集結するのです。そういう浪速の水が心地良く、私もいつの間にか溶け込んで今日まで流れてきたようです。過去から引き継がれてきたこの浪速流の感じがとても大切なものに思えます。新しく入会された会員先生には、とりあえず、この浪速の、ゆるいようで濃い大きな水の流れに身を任せてみることをお勧めします。

最近ではA I（人工知能）が様々な場面で活用されており、会計帳簿の処理についても、レシートの画像からA Iが内容を判断して適当な

勘定科目に振り分け、ソフトに入力することなどが可能になりました。それなら次は年末調整や3月の確定申告、さらに進化してもっと複雑な税務判断や悩ましい事案も、過去の事例や判例を学習させれば、適切な対応方法を即座に答えたり、アラームを鳴らしたりすることが可能になるのでしょうか。もしそうなったら、そのロボットさんも青年部の座談会に呼んで、どんなことを言うのか聞いてみたいです。さらに座談会での会話を学習させたらどうなるか・・・見てみたいです。

さて、ご案内です。来る12月13日には道頓堀ホテルにて、確定拠出年金をテーマにした認定研修会および意見交換会を開催します。意見交換会では社交ダンスのイベントと手作りのお笑いを準備しておりますので、是非ご参加ください。また、来年も研修会やファミリー参加レクリエーションを予定しておりますので楽しみにしててください。これからも青年部活動へのご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。





## 私のWLB

浪速税務署長 村崎 尚 弘

最近、働き過ぎが社会問題になり、我々の職場でも「ワークライフバランス」を強く求められるようになっていきます。特に管理職には、「部下のキャリアや人生を応援し、そのうえで仕事の業績も結果を出し、自らも仕事と私生活を楽しむ上司像」が求められます。

そこで今回、「なみせいだより」の大事な紙面に私生活のことで恐縮ではございますが、私の趣味（＝ライフ）の話をさせていただきたいと思います。

季節によって趣味も変わりますが、今の時期は週末の「キャンプ」です。

驚かれる方も多いとおもいますが、もちろん10月の末から4月の上旬までは、キャンプ場はオフシーズンですが、あえてこの時期にキャンプ場でのんびり過ごすのを楽しんでいます。

その理由は、昔、子供と行ったキャンプは、GWや夏休みで、予約を取るのに苦労し、予約が取れても、遠くて渋滞、帰ってきてからの片づ

けまでするとクタクタのキャンプで、とても楽しいと言えませんでした。

しかしこの2～3年、子育て期を越えた同世代の友人とゆっくり過ごすキャンプができるようになりました。

ホームグラウンドは大阪市内からでも1時間で行ける、北摂のキャンプ場です。車で行ってサイトに横付けできるので、荷物も楽々、BBQは片付けが大変なのでNG、バーナーを使用した鍋料理、ダッチオーブンを使用したグリル料理や煮込み料理、気を付けるのは寒さ対策、でもたき火をすれば過ごせます。日帰りのデイキャンプもいいのですが、泊まりもお勧めです。大阪府内でも、夜は星も見え、朝の鳥のさえずりは「信州か？」と思うほどです。是非いかがでしょうか。

先生方と次にお会いできる機会には、皆さんのワークライフバランスをご教示いただければと思います。今回、原稿の依頼を頂き、ありがとうございました。





# 新役員紹介



総務委員長

**西川 弘 晃**

この度の定期総会において再び総務委員長を仰せつかりました西川です。鈴木前青年部長のもとで務めていた折にはたくさんの先生方のご参加、お力添えをいただき幾重にもお礼申し上げます。今回は続投ですが、浪速支部にとって続投という言葉は良い言葉ではありません。ですが、猿木青年部長が私を指名いただいたのは大変光栄に存じます。微力ではありますが猿木部長を精一杯サポートしていく所存でございます。今後ともご参加・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

青年部の会計は中小零細企業でよく見る自転車操業の状態です。身の程わきまえず、どうしても先生方の寄付が必要です。僅かでも本当に有難いです。青年部の行事に是非ご参加いただくことを心待ちにしております。

最近の青年部の行事は若い先生方が積極的にご参加頂いております。ご参加いただいた先生からは気軽に参加できる、楽しい、と仰っていただいております。支部行事に参加しにくい場合は是非青年部行事からご参加ください。



広報委員長

**金 本 昌 史**

この度の定期総会において広報委員長を仰せつかりました金本です。

慣れ親しんだ厚生・研修担当から広報へスライドし勝手が分からないところですが、猿木部長を支え青年部を盛り上げるため頑張ろうと思います。

青年部では家族で楽しめるファミリー参加レクリエーションをはじめ、定期総会、冬季意見交換会、研修など楽しい行事があります。

楽しい思い出を後世まで残せるよう、ある意味一線を越えた『なみせいだより』を皆様と作っていきたいと思います。

私から『なみせいだより』の原稿依頼があったら、快くお引き受けいただきますようお願い申し上げます。



研修委員長

**伊 藤 昌 紘**

この度、定期総会におきまして研修委員長を拝命しました伊藤でございます。前期までは研修・厚生委員会がひとつにまとまっていたのですが、猿木新青年部長のご意向により、今期より研修委員会が単独となりました。私の役割は、しばらくお休みしていた青年部としての研修を今期より復活させ、青年部会員並びに浪速支部先輩先生の皆様へ、楽しい研修を実施する事です。たくさんの先生方にご参加頂けるように、支部研修と青年部研修の共催という方法で認定研修を実施する予定です。

2年間、精一杯がんばりますので、よろしくお願い致します。



厚生委員長

**西 本 毅**

このたびの定期総会にて厚生委員長を拝命しました。猿木部長のもと、ファミリー参加レクリエーションや意見交換会などたくさんの方々に楽しんで参加いただける、青年部らしいアットホームな催しを企画したいと思います。是非皆さまの参加をお待ちしております。青年部会員先生並びに諸先輩先生のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。





## All for All

直前部長

鈴木 義 教

この度の定期総会の役員改選におきまして青年部長を任期満了退任いたしました鈴木でございます。二年間の在任中は、会員先生方並びに支部会員の諸先輩方、関係各位から多大なご支援・ご協力を賜りまして、改めて厚く御礼申し上げます。また、ファミリー参加レクリエーションなどご家族様にご参加いただいた機会もあり、併せて感謝申し上げます。

頼もしさと柔らかさを併せ持ち熱意にあふれる猿木新青年部長にバトンをつなぎホッとしております反面、正直なところちょっと寂しく感じるところもあります。排除の理論を採らず、「直前部

長」という役職を設けた青年部の規約は素晴らしいものであると感じるとともに、青年部の歴史を作ってこられた先輩先生方のお知恵に感心しております。

今後は、猿木青年部長はじめ新たな役員先生方に微力ながら協力させていただきまして、青年部活動の一助になれるように心掛ける所存です。青年部のますますの発展をご祈念申し上げて、簡略ながらご挨拶とさせていただきます。



## ◀ 定期総会 ▶



### 第22回 青年部定期総会 に参加して

宅 野 善 郎

平成29年9月8日(金)午後5時より、残暑の厳しい中道頓堀ホテルにおいて「第22回 青年部定期総会」が開催されました。司会の園田先生が議長を務めてくださり、はじめに部長の鈴木義教先生が挨拶されました。猿木先生、金本先生より事業・活動報告があり、続いて西川先生、原先生より会計監査報告が行われました。議事進行はユーモアが溢れており、和やかな印象を受けました。すべての議事は賛成多数により承認されました。

今回は役員改選の議事があり、新部長は猿木先生に決まりました。鈴木先生、お疲れ様でした。ありがとうございました。

そして新部長の猿木先生、これから2年間よろしくお願い致します。

議事終了後、浪速税務署長 村崎尚弘様よりご来賓祝辞をいただきました。

定期総会終了後、税務署長御講話があり、「税

務行政の将来像」として、ICTを活用して納税者の利便性の向上と事務運営の最適化をはかり納税者の信頼を確保する、これから目指すべきスマート税務行政についてお話をいただき、税理士の業務についてもこれからもっと効率化を図る必要性を感じました。

浪速支部の活動について研修やレクリエーションなど色々と参加させていただいておりますが、それらの中の青年部としてどんなことをしてきていたのかを改めて認識するきっかけになりました。今後もよろしくお願い致します。

定期総会に参加された先生方、お忙しい中お疲れ様でした。



# 講話を聴講して



安井 貴生

平成29年9月8日、浪速税務署長村崎様をお迎えし、今回は「税務行政の将来像～スマート化を目指して～」をテーマにご講話頂きました。

まず税務行政の現状として、税務職員の定員が減少の一途をたどっているにもかかわらず所得税・法人税の申告件数が増加している上、消費税軽減税率制度やインボイス制度などの新しい業務負担が今後増え、さらには経済取引のグローバル化等により事案が複雑・困難化しているとお話を頂きました。

これに対する対策として、これから増々発展が見込まれるICT（情報通信技術）やAI（人工知能）をフル活用することで納税者の利便向上を実現するとともに、効率的な課税・徴収を行うことが今後目指すこととなる税務行政の将来像であるとのことでした。

具体的には納税者の利便向上の観点から①税務申告納付についてマイナポータルやe-Taxのメッセージボックスを利用し申告納付の案内を納税者にダイレクトに行う②チャット機能を利用した税務相談の自動化③電子納税等の利用による申告納付のデジタル化の推進などであります。

さらに、課税・徴収の効率化の観点からは①AIを利用した申告内容の自動チェック②軽微な誤りであればメール等で修正申告を依頼するオフサイト処理③徴収においても納税者の納付能力判定や差押財産の把握などにAIの活用を図っていくとのことでした。

税務当局がこれだけ大きな業務転換を目指しているということは税務当局と納税者の間に立つ税理士業務の今後のあり方にも非常に大きな影響がありそうです。AIなどへの知識を深めた上で正しい決算書や税務申告書の作成などICTやAIに任せるところは任せ、人間でしか成し得ない、数字だけでは語れない経営者の諸問題を解決することに重点を置く。税理士業務も遠くない未来、そのように変わっていかざるを得ないのではないかと若輩者ながら思った次第です。

村崎署長様、この度は浪速支部青年部の為に貴重なお時間を割いて頂きまして誠にありがとうございました。



## 《ご寄付のお礼》

前第24号の本誌上におきまして当青年部運営のご寄付をお願いいたしましたところ、現在まで23名の先輩先生方を含め35名の皆様方より総計465,000円のご厚志を頂戴いたしました。ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

### 《会員異動（前号編集以降）》

|             |            |              |                  |            |
|-------------|------------|--------------|------------------|------------|
| 入 船／岡 本 倫 広 | 元町2-8-1    | ラポール難波701号   | 総和税理士法人          | ☎6649-2479 |
| 砂 原 健 太     | 難波中3-5-9   | 榮村ビル         | 榮村聡二税理士事務所       | ☎6630-2766 |
| 権 田 禎 廣     | 難波中1-12-5  | 難波室町ビル4階     | 税理士法人アシスト        | ☎6633-0602 |
| 野 口 明 子     | 元町1-7-8    | T.Kビル4F      | 鳥野利勝税理士事務所       | ☎6647-2577 |
| 田 野 公 三     | 元町1-5-7    | ナンバプラザビル707号 | 田野治夫税理士事務所       | ☎6633-9933 |
| 松 岡 秀 幸     | 難波中1-13-8号 | 竹田平八郎税理士事務所  |                  | ☎6636-0882 |
| 宮 井 幸 亮     | 幸町2-3-3    | 宮井ビル1001号    |                  |            |
| 新 田 盛 和     | 元町1-5-7    | ナンバプラザビル5階   |                  | ☎6634-3383 |
| 出 船／福 本 崇   | (北支部へ)     |              | 木之元 貴 子 (泉佐野支部へ) |            |



# 青年部冬季意見交換会に参加して

中 谷 陽 子



平成28年12月14日、近畿税理士会浪速支部青年部冬季意見交換会に、腹話術の金子さん、藤田のりえさんとご一緒に参加させて頂きました。

私が、このお二人と出会うキッカケは、浪速区日東地区のボランティア活動で、一人のおばあさんから「老人会の宴会に、テレビのちちんぷいぷいに出てた、天童よしみさんにそっくりな天井よそみさんと呼んでほしい！」って頼まれて、日頃からお付き合いのある社会福祉協議会の金子さん（腹話術の金子さんの奥様）に相談しましたところ、何と偶然にもお知り合いでした。

老人会の宴会はトントン拍子に進み、その時の動画が主人の目に留まり、又青年部長鈴木先生の

お世話もあり、この度の企画を快調に進めることができました。

最近藤田のりえさんは、天井よそみさんから、本名の“藤田のりえ”さんで、あっちこっちのイベントに参加されています。

目の前で腹話術の金子さんと、きんちゃんの軽妙な掛け合いも楽しんでもらえたと思います。

ピコ太郎の衣装で司会をされた金本先生、完璧！（笑）

浪速支部青年部先生方の今後一層のご活躍をお祈りいたしております。

本日は有難うございました。



## ご 員 に！ —私のお勧め—



鉄板焼き  
「つなぐ」

藤 本 伸太郎

前号での鳥野佳子先生からご指名を頂きましたので、なんと2度目になりますがオ・ス・ス・メの店を付度してご紹介致します。僕が足しげく通うお店は、なんばの座裏のホテル街にある鉄板焼き「つなぐ」さんです。カウンター席にある大きな鉄板を使い焼き上げる選び抜かれた肉や野菜は、焼ける音と香りを間近で楽しむことができ、目の前で丁寧にカットされていくのは絶妙なバランスで、五感を駆使してじっくり味わうことができま

す。焼きたて切りたてならではの美味しさは一度味わえば誰もがトリコになってしまうのは必至です。また、店長の実家がお蕎麦屋さんということで飲んだ後の締めに美味しい本格的なお蕎麦も味わうことができます。

今回は前青年部長 鈴木義教先生よりお願いいたします。





# ファミリー参加レクリエーション

信楽・近江八幡方面

上 田 玲(小4)



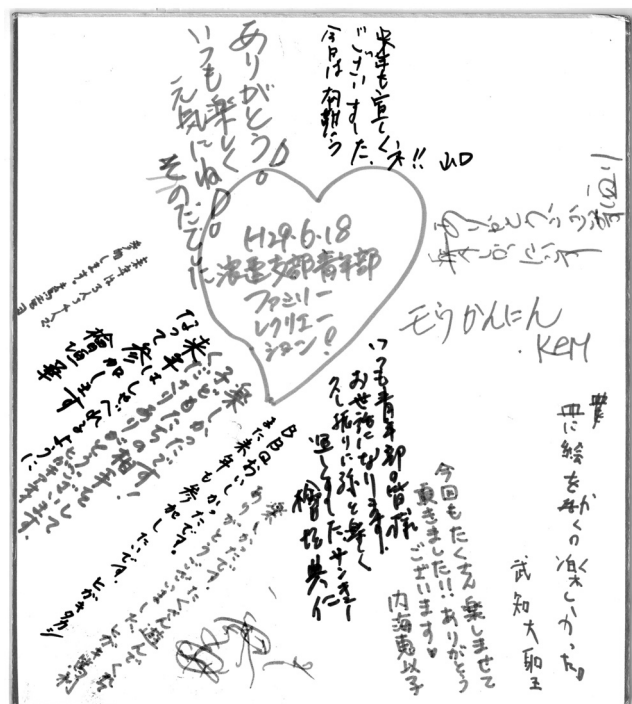
6月18日にしが県に行きました。  
その日の天気は晴れてうれしい気持ちでした。  
最初にしがらきに行きました。  
一番うれしかったことはお皿に絵をえがいたことです。  
なぜかという、お皿に絵をえがいたことがないからです。  
最初はとってもきんちょうしていて、しっぱいしたらどうしようとばかり考えて不安でしたがやってみるととてもおもしろかったです。  
あともう一つ心に残っているのは、お昼ごはんのバーベキューの野菜とお肉がとってもおいしかったことです。  
次に動物とふれあえる所に行ってモルモットやウサギ、ポニーやヤギがいてにんじんをあげました。

その次におおみはちまんに行きました。  
たねやさんに行って、やきたてのおまんじゅうを食べました。  
そこでようかんとういろうを買いました。  
いえに帰ったあとういろうをちょこっと食べました。  
とてもおいしかったです。  
また行きたいです。

金 本 拓 磨(4歳)



聞き手：信楽でお皿の絵付け体験をしたけど、どうだった？  
拓 磨：おさらにもぬるのがたのしかった。  
パパのぶんのおさらもぬりました。  
聞き手：お昼ご飯はバーベキューだったね？



拓 磨：おひるごはんのおにくもおいしかったです。ジュースもみました。

聞き手：お菓子屋さん（クラブハリエ、たねや）も行ったね？

拓 磨：おうちのかたちのはこにはいってるクッキーをかいました。2つのあじがあってどっちもおいしかったです。はこはいまもあります。

聞き手：また来年も行きましょうね。

拓 磨：はい。

## 野 口 明 子



難波からバスに揺られ、最初の目的地の信楽に到着。信楽でお皿への絵付けを体験するが、ピカソの再来！いやピカソ超えでは!?と言われた私の画力を皆さまに見せつけ驚愕させるわけにもいかないため、ささっと象形文字のようなものを描いて、外に出る。そこへ、にこやかに語りかけてくる先生方。その中に悪魔のささやきが・・・「昼食の乾杯の音頭をよろしく！」

私の〇十年の人生で、過去に音頭なるものを、したことがあっただろうか？記憶を辿るが、アラレちゃん音頭しかでてこなかったので、削除。何かいいネタがないか脳みそをフル回転。「昼食のメニューは、確か、バーベキュー・・・焼肉！」でてきたのは、昔なつかCM。

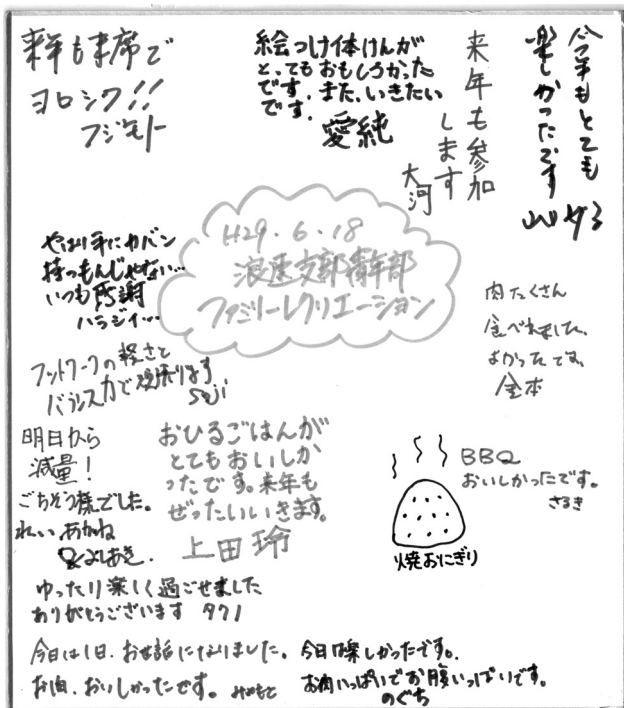
信楽での絵付け体験が終わり、昼食会場である道の駅アグリパーク竜王に移動。さあ、時は来たれり。先生方やそのご家族の方が居並ぶ中、スクッと立ち上がる。ビールを持つ手が若干震えている。緊張か？はたまた武者震いか!? いざ！「焼肉焼いても家焼くな～！乾杯！」

・・・ヤヤウケ。

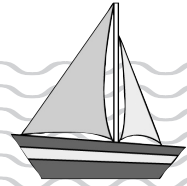
乾杯の記憶は、速攻、脳内からアンインストールし、目の前の近江牛に舌鼓をうつ。育ち盛りのマダムにお肉が足りないよ～と思ったら、追加の近江牛が! しかも霜降り!! ん～、マダム。とろけました。

そのあとは、最終目的地の近江八幡に移動し、町中を散策。バームクーヘンで有名な「クラブハリエ」でお茶をしようと覗いてみるが、すごい行列。1時間しか時間がないのに待ってるだけで終～了～！になりそうで、泣く泣くお土産だけ買って、向かいにある「たねや」で軽くお茶をし、そそくさとバスに戻り、難波への帰路へ。

まだ支部に入って日も浅く、知っている先生方もほとんどいない中、たくさんの先生方に優しくにこやかに接していただき、初夏の素敵な思い出の1ページになりました。







## 入船! 皆さん、よろしく



岡 本 倫 広

はじめまして、昨年の9月に初めて税理士登録が完了した岡本倫広と申します。

平成20年に官報合格してから8年経過して、ようやく自分自身の念願であった税理士業界にて活動することになりました。

私自身も就業しながら、36歳で官報合格しているにもかかわらず、6年前には不慮の事故で脳挫傷の大怪我をしてしまい、なかなか税務会計全般に関わる仕事が出来ず、悩んでいましたが、この度はご縁があったというべきか、近畿税理士会浪速支部にお世話になることになりました。

怪我の影響はないとはいえませんが、一から出直すつもりで一生懸命業務に邁進していきますので、何卒よろしくお願い致します。

(追伸)

大学時代は、体育会ゴルフ部で心身ともに鍛えてきました。

(大学から始めたので上手ではありませんが…)



砂 原 健 太

平成28年11月に税理士登録が完了し、浪速支部に入会させて頂きました砂原健太と申します。榮村聡二先生の事務所でお世話になってちょうど10年、ようやく税理士としてスタートラインに立つことができました。

私は、大学卒業後に民間の調査会社に就職し、主に中小企業の取材調査の業務に就いておりました。その中で税理士の先生と知り合う機会もあり、決算書を「見る」側から「作る」側の仕事に興味

がわき、税理士を目指した次第です。

登録から早や1年、今年は、新年会や確定申告相談会、支部総会などに参加させて頂きました。先輩先生方に、温かく迎え入れて頂き、本当に感謝しております。

最後になりましたが、まだまだ分からないことも多く、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



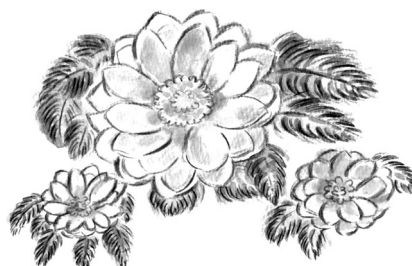
野 口 明 子

平成29年3月に税理士登録をし、浪速支部に入会いたしました野口明子と申します。烏野利勝先生のもとで約6年間お世話になっています。

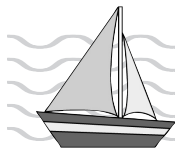
税理士登録をしてから半年強が過ぎ、浪速支部の諸先輩方をはじめとして、新しい出会いが増えました。また、記帳指導を担当させて頂き、開業間もない個人事業主の方々との出会いもありました。

記帳指導の中で、どういうことでお困りになっている等の生の声を聞くことができ非常に参考になりますし、逆に、これからどんどん事業を拡大していこうという事業主の方のパワーを感じて、こちらも元気を頂戴しています。

もちろん、まだまだ私も勉強しないといけないなど感じることも多々あり、毎日が新発見の連続です。浪速支部の皆様、引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。







# 卒船！ お疲れ様でした



## 青年部の記憶、 走馬灯の如く

原 仁 司

去る平成27年9月青年部定期総会（以下総会）にて鈴木先生に青年部長を引継ぎ、長きに渉る青年部長の役職を終え、引続き空席であった直前部長と内海前監事の監事職も兼任しつつ、この平成29年9月総会を以って、無事卒船の歓迎を受けるに至り、今回“いつの日か金本青年部長”の強力な要請を受け、寄稿に至った次第であります。

思えば、先輩方の立ち上げた青年部も当初とは色合いも時と共に少しずつ変化しつつも「定期総会」「ファミリー参加レクリエーション」「なみせいだより」の3本の矢を基軸に、浪速税務署様や浪速支部と連携して青年部らしい研修会開催や意

見交換会等、青年部活動の充実に努めて来れたのかな…と回想する今日この頃です。

とは言うものの、青年部は親先生方のご支援があつて初めて機能するもの、私も含め親先生に於かれましては、今後とも更なる温かいご支援・ご理解・ご協力戴き、浪速支部青年部を益々盛り上げて戴きましたらと切に願う次第です。

今回、青年部史始まって以来、初の女性青年部長が誕生し、猿木青年部長には新しい息吹を女性らしい視点で青年部に届けてくれることを期待しながら、今後は精一杯応援していきたいと思ひます。

最後に、沢山の思い出と経験をくれた青年部の記憶…走馬灯の如く本当に永い様であつという間に駆け抜けていった青年部…これからもずっと永遠に続きますことを祈りながら…



# 平成28年度 青年部活動だより

平成28年8月1日 ～ 平成29年7月31日

## I 役員会開催関係

- |                                    |       |         |
|------------------------------------|-------|---------|
| • H28. 9. 6 「定期総会・意見交換会」の第1回打合せ    | パンチャン | 出席者 9 名 |
| • H29. 3.28 「ファミリー参加レクリエーション」第1回打合 | パンチャン | 出席者 9 名 |

## II 活 動 関 係

- |                                 |                        |         |
|---------------------------------|------------------------|---------|
| • H28. 9.16 「第21回定期総会・意見交換会」開催  | なんば道頓堀ホテル              | 出席者29名  |
| • H28.11. 2 「なみせいだより」第24号 編集会議  | 玉家                     | 出席者13名  |
| • H28.11.17 「なみせいだより」第24号 最終校正  | 浪速支部事務局                | 出席者 7 名 |
| • H28.11.28 「なみせいだより」第24号 発送準備  | 辻本昭一事務所                | 出席者 4 名 |
| • H28.12. 1 「なみせいだより」第24号 発刊    |                        |         |
| • H28.12.14 「冬季意見交換会」開催         | 道頓堀ホテル                 | 出席者38名  |
| • H29. 6.18 「ファミリー参加レクリエーション」開催 | 信楽焼絵付け体験と<br>近江八幡街並み散策 | 出席者32名  |

### \* 編 集 後 記 \*

『なみせいだより 第25号』はいかがでしたでしょうか？ご協力いただいた先生方の原稿をチェックさせていただきながら、「そうそう、そんなこともあったなあ。」と思い出していました。冬季意見交換会、ファミリー参加レクリエーション、そして定期総会。税理士として浪速支部にお世話になり始めて、最初の1年であったということを差し引いても、記憶力の乏しい私にしては鮮明に覚えている行事ばかりでした。それだけ、インパクトが強かった、ということでしょうか…(笑)。

本号の発刊にあたって開催された「編集会議(という名の「飲み会」…?)」には、例年より多くの先生方が参加されていた、ということでした。これもひとえに、心優しく受け入れてくださる先輩先生方のお力の賜物だと思います。これから新しく入会される先生方のみならず、これまで青年部の活動に興味がありつつも、なかなか参加できなかったという先輩先生方にもぜひぜひ参加していただければ、と思います。次号の『なみせいだより』においても楽しいご報告ができれば…、と思いました。

(宮本 幸恵)